



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1700 回例会

平成 24 年 4 月 16 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

会員卓話 千賀 知起君 重光 孝義君

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 60 名 出席者数 40 名

出席率 66.67% 前回修正出席率 70.00%

4. 会長スピーチ

会長 田村 健治 君

昨日、浜の宮海水浴場で恒例の行事である「タンポポの会との交流会」が催され、カヌーに乗ったり、フラダンスを見たりして、子供たちとその家族らと共に楽しい時を過ごしました。幸い天気は上々で、無事に終えることが出来ました。出席していただいた社会奉仕委員会の皆さん、理事役員の方々ご苦労様でした。



さて今日の話ですが、又、原発関連です。放射能ではなく、エネルギー問題です。

今、国内では原発の再稼働問題に揺れています。反対派の主張は、いうまでもなく安全性の問題です。賛成派の意見はこうです。「今、原発を全廃すれば、必要電力をカバーするには火力発電を増やすしかない。そうなれば、地球温暖化が進行するし、第一、どんどん高くなっている石油を大量に買う必要に迫られ、コスト上昇を招くことになる。それが消費者に跳ね返り、日本経済が危機に陥る。その為、代替エネルギーを充分確保できるまで原発に頼らざるを得ない」。ということです。

そこで今、代替エネルギーの中で一番注目されているのが地熱発電です。地熱発電の先進国といえばアイスランドが有名ですが、実は日本も世界有数の地熱資源が豊富な国なのです。日本は火山が多いためですが、困ったことに火山地帯のほとんどが国立公園になっています。その為、環境保全の法律により工事が出来ないのです。しかし、自然エネルギーである地熱は大

陽光や風力より発電費用が安く、またコンスタントに発電できるというメリットがあるのです。必要に迫られ、政府は公園内でも工事が出来るよう法律を変える計画があるそうです。国益を優先するのなら、ごく限られた範囲で原発再稼働もやむ無しかも知れません。

原子力研究所で働いている義理の弟が言っていました。マスコミでは発表されませんが、もう一つ全廃できない理由があります。それは、原発を動かしている人たちは皆、超専門的知識と技術を持ち、全廃となれば転職しなければなりません。そうなれば、将来何かの理由で再稼働が必要になっても人材不足で不可能になります。

5. 幹事報告

幹事 山畑 弥生 君

○例会臨時変更のお知らせ

岩出 RC 5 月 17 日(木) → 5 月 13 日(日)

8:30～ 永沢寺 芝桜見物 舞子公園周辺
(兵庫県三田市)

5 月 31 日(木) → 5 月 31 日(木)

7:30～ 大宮神社～ホテルいとう
(早朝例会)

海南西 RC 5 月 24 日(木) → 5 月 20 日(日)

大津市 三井寺方面(西国巡り)

和歌山北 RC 5 月 28 日(月) → 5 月 27 日(日)

12:00～ わたらせ温泉
(家族親睦例会)

○休会のお知らせ

和歌山北 RC 5 月 7 日(月)

岩出 RC 5 月 3 日(木・祝日)

6. 委員会報告

○タンポポの会との交流会

社会奉仕委員会



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田村 健治 幹事: 山畑 弥生 SAA: 岩井 克次

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp



みなさん。ご協力有難うございました！

7. 会員卓話

○千賀 智起君

私の入院遍歴記についてお話します。

私は高校時代、サッカーをしていました。中学校時代は不動のフォワードでした。ちょっとフェディングをしすぎたかな。そして、高校でサッカーをしていたころ虫垂炎になりました。谷口病院で手術です。恥ずかしくてたまりませんでした。

その後、広島大学に進学し、ボクシングジムに通い始めました。ボクシングで大切なことは視力がいいことです。当時はバイト、マージャン、ボクシングの毎日でした。丁度、沖縄の石垣島出身の具志堅さんの面白いエピソードがあります。

具志堅さんがファーストフードのドライブスルーでの会話です。

店員：お待たせいたしました。ご注文をどうぞ！

(車の中からメニュー看板を指差しながら)

具志堅：これとあれと、これちょうだい！

店員：すみません！名前をお願いします。

具志堅：具志堅用高です。

ドライブスルーでなければ問題はなかったのですけどね。座右の銘について聞かれ、左右の目と勘違いし、両方とも2.0です。と言ったらしいです。さらに、ボクシングのイーブンが分からず、解説にて僕の「言い分は」と答えたそうです。具志堅用高さんが防衛戦で負けたのは試合前の楽しみアイスクリームを食べ

られなかったからしいですよ！

そして、私はジムでボクシングの練習に励み、とうとうプロテストを受けることになりました。しかし、その前日、バイトを終え帰宅する途中で交通事故にあってしまいました。これで、私のボクシング人生は終わりました。

その後、板前の修業をして、和歌山に帰りました。30歳のとき、突然、足が動かなくなりました。原因不明の大腿骨頭壊死傷という病気です。今もセラミックの骨が入っています。私のこれまでの入院遍歴記でした。

来期は親睦委員長です。よろしくお願いします。

○重光 孝義君

私は、40年8月25日生まれなので、昭和40年代の出来事について、話します。

丁度、団塊の世代が二十歳になった時でこの頃から学生運動が盛んになって行った時代だと思ひます。前年には新幹線が開通し、東京オリンピックが開催されました。私の

生まれた前後から日本の発展が始まった様に思ひます。覚えている限りでは、テレビ、冷蔵庫、洗濯機いわゆる白物家電は、ほとんどの家にはあった様に思ひます。食べるものもやっぱりチキンラーメン、カップヌードルなどもこの時代に出来た物です。私達の時代の子供は、多分色んな物が出来て色んな物を食べさせられ、かなりの合成着色料が体中に入っているとされます。いわゆる発ガン』性物質です。でもおいしかったです。

昭和40年には何があったかネットで調べてみました。あんまりたいした事は無かったのですが、吉展ちゃん事件が解決と言うのがありました。7月4日、吉展ちゃん事件の被疑者・小原保を逮捕。5日、自供により都内の円通寺の墓の下から吉展ちゃんの遺体が発見された。後はレコード大賞には美空ひばりの柔でした。昭和41年にはと40年代を年毎に進めて行こうと、思ったのですが、結構めんどくさかったので後は、ちょこつと話したいと思ひます。43年にはクーラーの売れ行きが急伸した。家にクーラーが来たのは46、7年くらいだったと思ひます。雑談、コインクーラーの話それとスーパーの大型化、海南のジャスコが進出してきたのが42年だそうです。当時は人で溢れていたと思ひますが、その結果、旧商店街の栄通りの買い物客はみな、駅そばにできたジャスコやココに集中し、栄通りはゴーストタウン化してしまっただと思ひます。共存共栄は難しいと思ひますが、結局最終的にはジャスコもココも潰れて、栄通りも潰れて、今になって考えてみると今の海南市には何が残ったんやろ？って思ひますが、私の力ではどうすることも出来ないですけど。

昭和45年3月には大阪万博開催、その月によど号のハイジャックありました。ハイジャックなんかは子



こうして観てみると和歌山、海南も含めて劇的に変化した時代じゃなかったかなって思います。最後に私がただ単純に、思ってきた事です、42号線が海南の駅前を通るルートであったならばもう少し海南も違っていたのではないかな？て思います。南から来る人は車で海南の端っこを通過して和歌山に行くのですが、海南を抜けるのは一瞬です。駅の方を通るルートであったならば、少しはお金も海南に落ちたんじゃなかったかなって思います。今はオークワとかジョーシン、コーナンとかできていますが、何か残念です。

ゲスト卓話 紀陽銀行 経営コンサルタント
柏木 英之 様

花田 宗弘君	タンポポの会、カヌー体験にご協力 有難うございました。
中西 秀文君	阪口さん、楠部さん、宮田貞三さん、 桑添さん、林さん、倉橋さん、中村 俊之さん、三木さん、田岡さん、地 区協議会出席。ご苦労様でした。
柳生 享男君	ニコニコ！

「食糧バンクが必要とされる地域で、ロータリアンは既に献身的な活動を行っている」と話すのは、同ネットワークの CEO（最高経営責任者）、ジェフリー D. クレインさんです。ロータリアンには、20 カ国以上で飢餓をなくすための食糧バンクの奉仕プロジェクトに参加し、リーダーシップを発揮してもらいたいと、大きな期待を寄せています。

YSA は、4 月 20-22 日に年 1 回の世界青少年奉仕デー (Global Youth Service Day) のキャンペーンを実施し、何百万人もの若者を奉仕活動に動員しました。AMES コットンウッド・インターアクトクラブ (米国ユタ州) は、ミニマラソンを開催してこのイベントに参加し、そこで募金を通じて得た資金を、恵まれない人々の歯科治療を支援する地元非営利組織に寄付しました。ロータリークラブ、ローターアクト、インターアクト、そしてロータリー地区は、ぜひ YSA と協力した活動をご検討ください。

イジェリア大統領にロータリーが ポリオ撲滅推進功労賞を授与

ポリオのない世界を目指す活動でリーダーシップと献身を示しているナイジェリアのグッドラック・ジョナサン大統領に対し、国際ロータリーから「Polio Eradication

Champion Award (ポリオ撲滅推進功労賞)」が贈られました。

4月23日、ロータリー財団のウィルフリッド・ウィルキンソン次期管理委員長から大統領に本賞が授与された様子が、ナイジェリア全土にテレビ中継されました。ウィルキンソン次期管理委員長は次のようにお祝いの言葉を述べました。「ナイジェリア、そして世界からポリオを撲滅するために全精力を捧げておられる大統領に本賞をお贈りできることを、この上ない栄誉と感じております。全世界120万人のロータリー会員、そしてナイジェリアだけでも6千人近い会員を代表し、ジョナサン大統領とナイジェリア国民の皆さまのポリオ撲滅へのご尽力に、心から御礼を申し上げます」

全国緊急プラン

ジョナサン大統領のリーダーシップの下、ナイジェリアでは、全国緊急活動プランが立ち上げられ、ポリオ撲滅活動への投入資金も、これまでの1,700万ドルから、2012年と2013年は3,000万ドルへと増額されました。ナイジェリアでのポリオ発症数は、2009年(388件)から2010年(21件)の間に95%激減しました。とはいえ、昨年には感染者数が62人と増え、引き続きの警戒の必要性が強調されます。「ナイジェリアの子どもや親御さんたちに私が約束していることが一つあります。それは、たとえ今、この国のすべての保健問題を解決できないとしても、2015年までにポリオ撲滅を実現することに政府が全力を注いでいるということです」と大統領は述べます。「ポリオ撲滅活動を直接監督している保健大臣にも、あらゆる手を尽くし、何としてもあと2年でわが国からポリオを撲滅するよう指示しています」これまで、インドのサイ首相、ドイツのメルケル首相、潘基文国連事務総長、コフィ・アナン国連元事務総長、パキスタンのザルダリ大統領、イギリスのキャメロン首相に本賞が贈られています。

間もなく開催となる

2012年バンコク国際大会

5月6～9日までタイのバンコクで開催される2012年RI国際大会には、35,000人以上の登録者が集まっ

ています。本大会のオンライン登録は5月1日締め切りです。

今年の国際大会では、史上初めて、本会議の一部をウェブキャストによるライブ中継でご覧いただけます(第3回本会議でポリオ撲滅活動におけるロータリーの功績を祝う様子)。ウェブキャストは、タイ時間の5月8日午前9時15分(日本時間の午前11時15分)からとなっており、その後も録音をご覧いただけます。

大会では数々のゲストが基調講演を行う予定となっており、ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌスさん(先日「ザ・ロータリアン」誌に掲載されたインタビュー記事はこちら)をはじめ、「Global Poverty Project」の共同設立者兼CEOのヒュー・エバンスさん、国連財団特別アドバイザーのジリアン・ソレンセンさん、グラミー賞受賞歌手で人道活動家のアンジェリーク・キジョーさん、現在「Global Health Access Program」のカリキュラム・コーディネーターを務める元平和フェローのアマンダ・マーティンさんなど、多彩な顔ぶれが登場します。

第4回本会議ではまた、東ティモール民主共和国のジョゼ・ラモス・ホルタ大統領が講演を行う予定です。講演者に関する詳細はこちらをご覧ください。

ツイッターを使った国際大会情報
ツイッターでは、ハッシュタグ「#ricon12」を使ってバンコク国際大会に関する情報が発信されます。このハッシュタグを使って大会情報がご覧いただけるほか、大会出席者がハッシュタグを使って現地からツイートすることもできます。

バンコク現地では、大会参加者のために地元のロータリアンがさまざまな文化行事やツアーを用意しています。ホスト組織行事の一つ、公演「a boy and a TIGER」は、小説「The Life of Pi」を基に作られたプログラムで、マルチメディア演出の下、音楽、踊り、曲芸などで観客を魅了します。出演するのはタイの恵まれない子どもたちやHIVに感染した子どもたちです。

地元ロータリアンはまた、大会出席者を集めて大規模なスマイルの顔を作ろうと計画しています。このイベントは5月7日午後2時からインパクト・アリーナで実施予定です。詳しくは、Eメール(biggestsmile2012@gmail.com)でお問い合わせください。国際大会の直前、5月3～5日には、ロータリー世界平和シンポジウムとロータリー学友祝賀行事が開催されます。ここでは元ロータリー平和フェロー、その他のロータリー財団学友、ロータリアンなどが、平和と紛争解決の分野における最新情報や各分野の専門家から実践的なスキルを学ぶことができます。



ロータリー財団のウィルフリッド・ウィルキンソン次期管理委員長(左)とナイジェリアのグッドラック・ジョナサン大統領。写真提供: ナイジェリア・ポリオ・プラス委員会